



朽ちゆくものの美しさと存在感、 根底に「生命愛」

色即是空 (しきそくぜくう) 阿部龍一展 令和4年度後期企画展 11月30日(水)まで

「流木の他にも、土壁のシミや鉄の錆、麻布、藁、塗料の剥げたトタンなど、古びてやがて朽ちていくものに時の積み重ねと質感の美しさを感じ、物質の持つ強い存在感に惹かれる。

人間の顔や胴体をモチーフに「命」、「生と死」、「輪廻」、「神」などを想起しながら粘土で造形し、様々な物質と組み合わせ、オブジェとして表現している。」(阿部龍一)

今回の企画展では、阿部龍一氏の新旧織り交ぜた作品を展示し、表現の変化を振り返ることができる。筆で描くよりは、触覚的にもものを貼り付けたり削ったりする方が自分に合っているということに気づいた大きな方向転換を経て、油彩の大作中心の制作から、現在のさらにエネルギーな半立体のオブジェの制作に至る。

特に2011年の大震災の混沌とした状況がモチーフととらえられがちだが、作品のところどころに見える頭部や胴体と思われる形や全体のごめきなどは「命の象徴」としての表現でもあるという。自らの家族に向ける感情など、そこには愛や慈しみといった作家の温かいまなざしを感じ取ることができる。

白い仏像の設置により、これらオブジェとの調和や緊張感が増し、室内空間を利用したインスタレーションとして、鑑賞者を新たな次元へ導いてくれるかもしれない。

おでんせプラザぐるーぶ3F生涯学習センターミニギャラリーにて、今企画展の関連作品を展示中。



「絵画教室を終えて」受講生の感想より

9月10日(土)に10回目の講習を終え、受講生全員が修了証を受け取りました。

- ・よく見ることの大切さを知ることができた。他の方の絵からもたくさん学べた。
- ・絵を描くのはその人の感性とと思っていましたが、基礎もかなり大事という事がわかりました。
- ・目標をもって仲間と向き合うことで、完成させるという達成感を強く味わうことができました。
- ・励ましを受けながらなんとか形になってきたことが救いでした。
- ・普段見ている日常の景色も絵の題材として見えてきたりして、気持ち豊かになったような気がします。
- ・絵を描くことが好きで共通する方達と、同じ空間と時を過ごさせていただき楽しい時間でした。



この記念事業の年、はじめの企画展は盛岡市在住の阿部夏希さんの版画展「日々のすきまから」であった。銅版画で刷られた黒の深みが印象的な作品が静かな空間を創り出していた。小品ながらも見ごたえある作品群が好評で、記念事業の年が静かに始まった。ご多分に洩れず、本館の事業も少なからずコロナに翻弄され、前年からの開催が延期された企画展であった。ちなみにこの企画展をはじめとする作家活動が評価され、阿部さんは2022年県美術選奨を受賞している。

迎えた7月。中期企画展は「阿吽（あうん）佐渡の鬼太鼓（おんでこ）と日本のまつり」というタイトルで開幕した。佐渡島から横3mの大作2点をトラック輸送したのだからかなりスタッフのエネルギーを要した。実はこの大作2点「阿」「吽」は数年前から北上での公開が取り沙汰されていたのだが、交渉や運搬手配も難航してこの期に及び、いわば鳴り物入りで北上に初登場したわけである。

佐渡では保管期間に所有者が変わり、展示場所も変更を余儀なくされてきた。今回の記念事業に当たり、展示場所としてはやはり北上の美術館がふさわしいのではないかという配慮のもと、交渉が成立し当市の保管が決まった。何しろ大作なのでトラック輸送の後、館内に運び入れ、さらに設置するまでもこれまたかなりのハードワークであった。



この大作2点を常設展として招き入れるとなると、本来の常設展示、「東北の祭りシリーズ」の一部がはみ出てしまうという問題に助け舟を出してくれたのが北上市立博物館であった。この時期、多目的ホールが空いているとなつて関連作品展を開催させていただくことになり、当館では「阿吽（あうん）佐渡の鬼太鼓（おんでこ）と日本のまつり」、博物館では「鹿踊（ししおどり）とメキシコのまつり」という姉妹展が成立する。

こうして予定外ではあるが、館外施設で関連展示が開催されると言うこの年ならではの「コラボレーション」が理想的に展開されていくことになる。（次号に続く）

生涯学習センターでは
美術館関連作品を展示しています。

随時展示替えを行いますので、美術館の鑑賞に併せて
ご覧ください。12月以降の閉館期間中は記念大賞展
の受賞作品を展示します。

冬季休館のお知らせ

- 冬季休館期間 2022年12月1日（木）～2023年3月31日（金）
- 来年度の開館 2023年4月1日（土）からとなります。
- 休館中のお問い合わせ先 北上市まちづくり部生涯学習文化課

利根山光人記念美術館移動展・第26回光の会美術展を開催します！

利根山光人作品と、当美術館絵画教室修了生で構成する光の会会員の作品を展示する展覧会を開催します。個性あふれる素敵な作品をお楽しみください。

- 展示期間
2023年3月18日（土）～3月21日（火）
- 展示場所
北上市保健・子育て支援複合施設 hoKko

発行 北上市まちづくり部生涯学習文化課

〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1 電話 0197-72-8304 FAX 0197-63-3121